

トビウオ通信 (H21 第3号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成21年度第1回日本海海況予報》

当技術センターを含めた北海道から山口県までの水産研究機関と独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所が協議してとりまとめた第1回日本海海況予報(4月8日付け)が発表されましたので、その内容に最近の動向を加味して、今後の山陰沖の海況を予測します。

今後の山陰沖の海況見通し (2009年4~6月)

- (1) 隠岐諸島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、弱い。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは平年並み。
- (3) 山陰沿岸の表面水温は、やや高めで経過する。
- (4) 山陰沖の50m深水温は、やや高めで経過する。

2008年11月~2009年2月までの経過

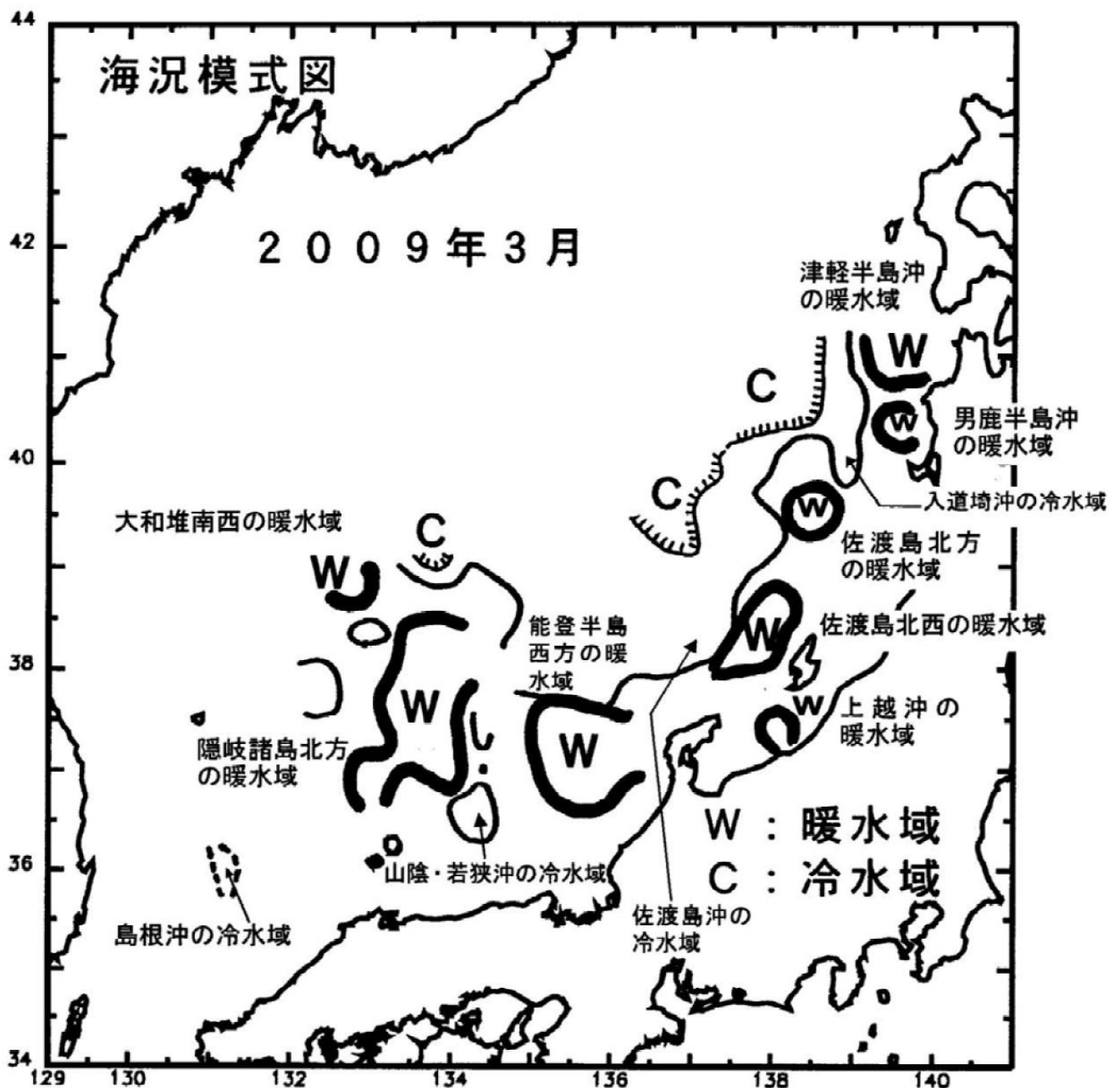
- 11月に隠岐諸島北東でみられた暖水域は、ほぼ停滞していました。
- 島根沖の冷水域は、規模は平年並みで接岸傾向にありました。
- 山陰・若狭沖の冷水域は、規模は平年並みで接岸傾向にありました。
- 対馬暖流域の表面水温は、11月はほぼ全域で「平年並み~やや低め」でしたが、島根県沿岸部では「やや高め」の海域が分布、12月はほぼ全域で「平年並み~やや高め」でしたが島根県沖では「やや低め」の海域が分布、2月はほぼ全域で「平年並み~やや高め」でした。

現況(2009年3月) (別添模式図参照、模式図は日本海区水産研究所作成)

- 暖水域は隠岐諸島北方に分布しています。
- 島根沖の冷水域は、規模は小さく離岸しており、山陰・若狭沖の冷水域は、規模・

接岸状況とも平年並みです。

- 対馬暖流は朝鮮半島沿いに北上する勢力が強く、島根県沿岸の流れは弱く、方向が一定していません。
- 対馬暖流域の表面水温は、全般的に「平年並み～やや高め」ですが、隠岐諸島北西海域では「かなり高め～はなはだ高め」の海域が分布。
- 対馬暖流域の50m深水温は、「やや高め」となっています（1～3月の平均）。



2009年3月の海況模式図